

産業建設委員長 山 内 政



記

- ## 5. 調査日程及び結果

- 9:10~

- 9:20~

- ・事業採択が予定どおり進む前提で、29年度頃から工事が始まる予定。

- ・ 集落内には認定農業者が7人いて集積化は高齢化を考慮しても必要である。
- ・ 事業費の5%は地元負担であるが、ソフト事業導入により負担ゼロもある。
- ・ 今後も委員会として定期的に調査を進めることが必要。
- ・ 今年の1月30日説明を受けた「アスパラガス茎枯病緊急対策事業」の現地を確認する。まだ芽が出たばかりで今後も継続して調査を行い、事業の検証をする必要がある。

(2) 栗生沢地区

ア、横町から栗生沢までの県道の整備について、建設課長・鈴木忠男より説明を受ける。 9:50～

- ・ 区長、湯田良隆氏より現在までの集落の取組みについて説明を受ける。隣の水無集落の共有地の問題、用地の取得の課題等々、一朝一夕で課題解決につながらない現況を確認する。昨年の「県道黒磯田島線整備促進期成同盟会」の総会時、南会津建設事務所より説明があり「地権者の同意が得られしだい、事業を進めて行きたいので、地権者の了解を得られるようご協力を賜りたい」という趣旨の説明を受けている。なお、要望の件は、「期成同盟会」の総会時に提案をして行きたい。

イ、県道黒磯田島線の整備について、現況の確認をする。 10:20～

- ・ 集落より通行止め区間に入り、現地を確認する。
- ・ 集落内の未舗装町道の150m舗装化事業の説明を建設課長より受ける。
- ・ 集落中央の元校庭用地を町道認定して、道路として整備して行きたい旨の説明を建設課長より受ける。

エ、栗生沢～中荒井間の除雪について、現地の道路を通行して確認をする。

10:45～

- ・ 荒海地区方面及び栃木県方面への通行については、大変利便性が良い。今後とも引き続き調査する案件であろう。

(3) 永田地区

ア、びわのかげ保育所付近の歩道、自転車道の整備について、建設課長より説明を受ける。 11:00～11:30

- ・ 町当局にはすでに要望事項が上げられていて、全体計画の中で進めて参りたい旨の説明を受ける。
- ・ 荒海方面や関東方面の近道、抜け道化している町道なので、交通量も朝夕多く幼児の通園には、安全確保が欠かせないのでしっかりした対応が必要である。
- ・ 国道400号線のびわのかげから藤生方面への路線延長については、国会議員等国に要望していかなければならないだろう。町政で実行できる施策ではない。

◎ びわのかげ保育所入口駐車場で閉会

11:30

6. 総 括

- ・ 田部地区の今後の高齢化社会を見据えたとき基盤整備を進めたいという区長の熱意が伝わり、とても感銘を受けた。基盤整備は金も時間もまた農地の権利の整理と、大変

苦勞を伴う事業である。担当の農林課も丁寧な対応と熱心な指導体制が見られ、委員会としても機会あるごとに説明を求め、進捗状況を確認していかなければならないと思う。

- ・栗生沢地区への大動脈「県道黒磯田島線」の整備は、地区民は元より将来の南会津町の発展にもつながる大変重要な路線である。栃木県との連携は正直進んでいるとは言いがたいがトンネル化を含め「期成同盟会」において、強力な推進活動を展開する必要がある。

集落内道路整備も建設課長より説明を受けたように少しずつであるが整備が進められている。今後とも推進をしていただきたい。

- ・永田地区の道路整備は、集落中心道路を優先して整備を進める計画を推進してきた。これは地区民の要望であり、行政もそれに応えてきた。今後は、交通量が増大して来た通園道路を、安全に通行できるよう全体計画を地区民にしっかりと示していただきたい。